



平和・くらしを守り 沖縄を戦場にさせない

県議選 共産党がアピール発表

政策アピール全文は沖縄県委員会の
ホームページからご覧ください。→



6月7日告示、16日投票の沖縄県議選で、7 予定候補の
全員勝利をめざす日本共産党沖縄県委員会と党県議団は1
3日、「物価高騰から県民のくらし・福祉を守り、沖縄を二度と
戦場にさせないために対話と外交による平和構築を」と題す
るアピールを発表しました。

掲げています。

那覇市内で会見した、あかみね政賢党県委員長(衆院議員)は
、国がうるま市石川の自衛隊訓練場新設を断念したことによ
り、「県民の声は国政を動かす力を持っている」と指摘。「玉城
デニー知事を支える与党の安定過半数のためにも、共産党の
7 議席を絶対に勝ち取らなければならない」と語りました。

アピールは、自公政治のもとで県民生活が切り崩され、軍備
増強が進められる中での県議選について「くらしと平和を守
るためにも、かつてなく大事な選挙です」と強調。

「7人全員勝利、『オール沖縄』の前進で、自公政治を終わら
せる流れを沖縄から」と述べています。

とぐち修県議団長は、A S E A N (東南アジア諸国連合) が
実践する、対話と外交の徹底で戦争をさせない取り組みの大
切さとともに、給食費無償化や高齢者の生活支援でくらしを
支え、自公などの“デニー県政いじめ”は許さないと訴えて選挙
に臨むと述べました。

主な重点公約として、沖縄の軍事要塞(ようさい)化や辺野
古新基地建設のストップ、学校給食費無償化など60項目を

辺野古新基地ストップ! 県民大集会に1800人 デニー知事が、自衛隊基地の増強に反対する考えを明らかに

辺野古新基地建設に抗議する「民意・自治・尊厳を守り抜く
4・14 県民大集会」が14日、名護市瀬高で開かれました。

悪天候と、シーミー「清明祭」の時期が重なる中で1800
人が結集。基地のない平和な沖縄を実現するため、声を上げ
続けようという決意を固めました。

デニー知事は、防衛省がうるま市石川の自衛隊訓練場整備
の断念に追い込まれたことについて「紛れもなくみなさんの
力です」と強調。米軍基地の負担軽減がされない中での自衛

隊基地の増強に反対する考えを明らかにし、「沖縄を二度と戦
場にさせないという心からの願いは、未来の子や孫たちに対
して私たちがとれる最大の責任だ」と訴えました。

日本共産党県議団、あかみね政賢衆院議員ら野党国会議員
5人もそろって参加。「沖縄を犠牲にする不当な司法判断を乗
り越え、新基地建設断念と普天間基地の閉鎖・撤去を求める声
を上げ続けよう」とする集会アピールを、しまぶく恵祐県議が
読み上げ、採択されました。



日本共産党7人の県議団



上原トクイチロー 女性のつどい
●4月29日(月祝) ●くる米満会議室
午後2時半~3時半

